

学校教育目標

不撓不屈の意気をもった生徒
強い意志

素直で素朴な生徒
思いやり

故郷青木村を誇る生徒
郷土愛

H29重点

あいさつは、自分から
実現したい5つの姿

○学び合い ○伝えよう、心の挨拶 ○心を磨く清掃 ○心に響く歌声 ○心を耕す読書

重点1 (授業づくり)

生徒が主体、力のつく授業を行います。

全校研究テーマ

「生徒が自ら課題を持ち、自分の言葉で伝え合い
解決する授業のあり方はどうあったらよいか」

～「学び合い」「見とどけ」に重点を置いた授業を通して～

自己肯定感の育成

～安心・充実の学校生活～

<わかる授業>

<いじめを許さない>

重点2 (集団づくり)

安心でき、活気ある

集団づくりを進めます。

思いやりの心の育成・人権教育の充実
学年学級活動・生徒会による集団づくり

全職員で取り組みます。(◆重点取組)

○確かな学力をつける授業

◆授業がもっとよくなる3観点に基づいた授業改善・見とどけの質の向上(振り返りの口枠の板書・学びの振り返り→目標:生徒アンケート80%以上)

・学習カード、振り返りカードの利用 ◆発言リレー、言語技を中心とした「学び合い」 ・グループ研究による授業力向上(全校研究会・スキルアップ授業研修会)

◆総合的な学習の時間 全体計画・年間計画の作成及び見直し ◆タブレット、ホワイトボードの活用(「学び合い」のツールとして)

・全国学力学習状況調査、全国学力調査、P調査、C調査の実施と分析による授業改善 ◆家庭学習+ノーメディアデーの実施(定期テスト前) ◆英語ALTの積極的活用

○学習意欲の喚起

・基礎・基本の定着(満点プリント・攻略ドリル・漢字道場)→合格者70%以上 ◆「ゴテラ」(毎週月曜放課後学習)「みんなでゴテラ」(テスト前学習)の実施

・ウィークエンドスタディ(週末家庭学習) ・学力向上週間の実施(英・数)

○インクルーシブ教育の推進

◆すべての生徒にとってわかりやすい学習環境、授業づくり ◆教職員研修(インクルーシブ教育・発達障がい・生徒理解・ICT教育等 年間4回・実践発表含む)

○健康・体力の増進

・青中ウォーミングアップ(授業の前に実施)による体力向上 ・体力面での課題単元重点化 ・健康教育の推進

○人権教育の充実

◆日常の学校生活におけるあいさつ ◆あいさつ週間 ・人権教育月間(前後期) ・道徳教育の全体計画と指導計画 ・Q-U分析

○生徒とふれあう時間の確保

・集会活動の充実(音楽集会・生徒集会) ・ノー部活デーの活用 ・教育相談

○きめ細やかな個別対応・少人数学習

◆支援会議(予防的取組)・心の相談員、スクールカウンセラーとの連携 ・個別の支援計画、指導計画の作成 ・外部機関との連携(S S W等)

保小、地域と連携します。

○村教育委員会との連携

・視察研修の実施 ・他校の参観受入れ ・地域ボランティアへの協力依頼 ・村教委と連携し、国際交流の実施(マリスタ・サイオン校訪問)

○地域との連携

・青木村の伝統や文化の学習 ・義民太鼓、伝統芸能 ・アイリスセミナー ◆職業講話+職場体験学習(2年2日間) ・キャリア教育(地域講師講話) ・進路指導

○保小との連携

・幼児とのふれあい活動 ・職員保育研修 ・中学校授業体験、部活動見学(小6) ・派遣交流授業(小6理科) ◆家庭科室整備支援・授業連携

「青木村の教育」を基盤とした教育課程

①保小中一貫教育 ②多様な他者や自然とのかかわり ③学力・体力の向上 ④子どもと向き合う時間の確保 ⑤一人一人を大切にする教育